

【月刊HMレポート：Vol. 194】 2017年11月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



“原因不明” “対応不能” と諦める前に 客観的姿勢の “効用” を考える

◇◆◇ 社内外の行き違いで事業成果を害さないために… ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

- | | |
|--------------------------|-------|
| 【1】原因ばかりか経緯もつかめない“問題”の急増 | …… 1頁 |
| 【2】主観性に“傾き過ぎる”傾向の事業上の危険性 | …… 2頁 |
| 【3】事業や組織を“危険”な状態から解放する視点 | …… 3頁 |
| 【4】実際に成果を生み出す“客観性”の具体例は？ | …… 4頁 |
| 【5】主観的姿勢が益々強くなる今日の人材指導視点 | …… 5頁 |

社外から受ける“クレーム”や社内で起きる“トラブル”には、時々“原因不明”と言いたくなるようなケースがあります。そして『なぜそうなのか？』と問いたくなるような問題は、むしろ増える傾向にあるのです。

しかし、一見“原因不明”に見える事象にも、それを誘発する“要因”が隠れていることも少なくありません。そして、そんな“要因”を発見し、その“対策”に至るなら、マイナスの排除ばかりではなく、事業活動の活性化の方向性も見えて来るようなのです。一つの事例をご紹介します。



SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- SPC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。